



Web Conferencing のインストール

この章では、新規に Cisco Unified MeetingPlace Web Conferencing をインストールする方法について説明します。アップグレードについては説明しません。アップグレードの詳細については、「[Web Conferencing Release 5.4 へのアップグレード](#)」の章を参照してください。

この章は、次の項で構成されています。

- [Web Conferencing のインストールについて \(P.2-2\)](#)
- [インストール前の作業 : Web Conferencing \(P.2-5\)](#)
- [インストール作業 : Web Conferencing \(P.2-10\)](#)
- [Web Conferencing インストール システムのテスト \(P.2-14\)](#)



(注)

この章に進む前に、次の URL の『*System Requirements for Cisco Unified MeetingPlace Release 5.4*』をお読みください。

http://www.cisco.com/en/US/products/sw/ps5664/ps5669/prod_installation_guides_list.html Release 5.4 の新規インストールには Cisco MCS が必要です。

Web Conferencing のインストールについて

Cisco Unified MeetingPlace Web Conferencing のインストールを開始する前に、次の概念を理解しておいてください。

- [SQL Server の統合について \(P.2-2\)](#)
- [SQL Server インストールのオプションについて \(P.2-3\)](#)
- [Sun Java Runtime Environment について \(P.2-4\)](#)

SQL Server の統合について

Cisco Unified MeetingPlace Web Conferencing は、Microsoft SQL Server と密接に統合されます。データベース (MPWEB および MPWEB-Slave-#####) には、Microsoft SQL Server を使用します。

展開する新規サーバは、すべて Cisco MCS か、または従来のシステムを使用する Cisco Unified MeetingPlace のお客様の場合は、Cisco MCS 相当のサーバにする必要があります。

Cisco Unified MeetingPlace Web Conferencing は MSDE 2000 と呼ばれる分散バージョンの SQL Server に付属しています。MSDE 2000 および SQL Server 2000 は同一テクノロジーに基づいていますが、MSDE 2000 は SQL Server 2000 よりもスケーラビリティがありません。この設計上の制約のために、MSDE 2000 を実行している Cisco Unified MeetingPlace Web Conferencing のお客様は、Cisco Unified MeetingPlace Web Conferencing の使用が増加すると、パフォーマンス上の問題やスケーラビリティに関連した問題が発生することがあります。

次の項では、MSDE に関連したパフォーマンスおよびスケーラビリティの制約を予想し、診断する方法について説明します。

- [MSDE データベース サイズ \(P.2-2\)](#)
- [MSDE データベースのスケーラビリティ \(P.2-2\)](#)

MSDE データベース サイズ

MSDE では、データベース サイズが 2 GB に制限されています。MPWEB または MPWEB-Slave データベースが 2 GB に達すると、Cisco Unified MeetingPlace Web Conferencing アプリケーションが失敗することがあります。したがって、MPWEB データベースの増加の度合いを監視して、いずれかのデータベースが 2 GB に達する前に次のいずれかの操作を行う必要があります。

- MeetingNotes の Purge Meetings Held Before (Days) パラメータに、より高い値を設定します。
- プロセッサごとのライセンスの、フル バージョンの SQL Server にアップグレードします。これにはデータベース サイズの制限はありません。

MSDE データベースのスケーラビリティ

MSDE は、高負荷でのスケーラビリティを制限するために、同時作業負荷スロットル メカニズムを実装しています。現在では、このメカニズムは、8 個を超える SQL クエリーが同時に実行されたときにアクティブになります。しかし、アクティブな Web 会議ユーザの数とこの制限の超過は直接に関連付けされていません。

むしろ、この制限の超過は、次に依存します。

- アクティブ ユーザの数。
- ある時点に使用される機能、およびこの機能がデータベースとやり取りする方法。
- データベースの現在のサイズ。
- サーバの能力 (たとえば、CPU およびディスク)。

この同時作業負荷スロットル メカニズムの実装に使用される特定のアルゴリズムについての情報を Microsoft は公開していませんが、シスコのテストでは、SQL クエリの数が 8 個のクエリの制限を超えると速度が低下することが示されています。たとえば、10 個のクエリが同時に実行される場合、速度の低下はわずかです。20 個のクエリが同時に実行されると、速度の低下はより顕著になります。40 個以上のクエリが同時に実行されると、速度の低下が非常に顕著になり、ユーザが Cisco Unified MeetingPlace Web Conferencing が応答しないか機能していないと思うことがあります。

SQL Server インストールのオプションについて

インストールを容易にするために、Cisco Unified MeetingPlace Web Conferencing は Microsoft SQL Server と Microsoft SQL Desktop Engine (MSDE) の両方とバンドルされています。SQL Server は、Cisco Unified MeetingPlace Web Conferencing と同じマシン、またはパフォーマンスを向上させるために、別のマシンにインストールすることができます。

Cisco Unified MeetingPlace Web Conferencing と同じマシンに SQL Server をインストールする場合は、インストール時に SQL Server データベースの場所として [Local] を選択します。インストーラがローカル システムにある SQL Server 2000 のバージョンの検出に失敗した場合、インストーラは SQL Server 2000 と該当するサービス パックの両方を自動的にインストールします。追加の操作は不要です。



(注)


必要なサービス パックについては、次の URL の『*System Requirements for Cisco Unified MeetingPlace*』を参照してください。

http://www.cisco.com/en/US/products/sw/ps5664/ps5669/prod_installation_guides_list.html

別のマシンに SQL Server をインストールする場合は、まず SQL Server 2000 と該当するサービス パックの両方をインストールしてから Cisco Unified MeetingPlace Web Conferencing をインストールし、その後 Cisco Unified MeetingPlace Web Conferencing を MCS にインストールします。インストール時に、SQL Server データベースの場所として [Existing remote] を選択し、適切な SQL アクセス情報を入力します。

表 2-1 に、SQL Server または MSDE を自動的にインストールするために Cisco Unified MeetingPlace Web Conferencing が満たす必要のある条件を説明します。

表 2-1 SQL Server の自動インストールの条件

満たした条件	Cisco Unified MeetingPlace Web Conferencing の処理
<ul style="list-style-type: none"> • Cisco MCS サーバ OS イメージをインストールする Cisco MCS サーバまたは Cisco MCS 相当のサーバに、Cisco Unified MeetingPlace Web Conferencing をインストールする。 • インストール時に、SQL Server の場所として [Local] を指定する。 • インストーラが、ローカル サーバ上に SQL Server の既存のインストールを検出しない。 	フルバージョンの SQL Server 2000 をインストールする。
<ul style="list-style-type: none"> • Cisco MCS 以外のサーバに Cisco Unified MeetingPlace Web Conferencing をインストールする。 • Cisco Unified MeetingPlace Web Conferencing のインストール時に、SQL Server のインストール場所として [Local] を指定する。 • インストーラが、ローカル サーバ上に SQL Server の既存のインストールを検出しない。 	MSDE をインストールする。
<p>インストール時に、SQL Server のインストール場所として [Remote] を指定する。このオプションでは、リモート サーバにフル SQL または MSDE をインストールしてから、Cisco Unified MeetingPlace Web Conferencing をインストールする必要があります。</p> <p>または</p> <p>SQL Server のインストール場所として [Local] を指定したが、Cisco Unified MeetingPlace Web Conferencing インストーラが、SQL または MSDE がすでにローカル サーバにインストールされていることを検出する。</p>	SQL Server も MSDE もインストールしません。
<ul style="list-style-type: none"> • Cisco MCS サーバに Cisco Unified MeetingPlace Web Conferencing をインストールする。 • 同じ Cisco MCS サーバにフルバージョンの SQL Server をインストールするか、ローカルにすでに存在する。 	SQL Server サービス パックをインストールする。  (注) SQL Server サービス パックが自動的にインストールされない場合は、Microsoft Web サイトから該当するサービス パックをダウンロードして、手動でインストールします。

Sun Java Runtime Environment について

Cisco Unified MeetingPlace Web Conferencing には、特定のバージョンの Sun Java Runtime Environment (JRE) が必要です (次の URL の『*System Requirements for Cisco Unified MeetingPlace*』を参照してください。 http://www.cisco.com/en/US/products/sw/ps5664/ps5669/prod_installation_guides_list.html)。Cisco Unified MeetingPlace Web Conferencing をインストールするマシンに現在 Sun JRE がインストールされている場合は、サポートされるバージョンであることを確認してください。サポートされない場合、インストーラが停止して、Cisco Unified MeetingPlace Web Conferencing のインストールを再開する前に Sun JRE をアンインストールするように要求されます。

Sun JRE がインストールされていない場合は、インストーラが自動的に Sun JRE をロードします。追加の操作は不要です。

インストール前の作業 : Web Conferencing

Cisco Unified MeetingPlace Web Conferencing をインストールする前に、次の URL の『*System Requirements for Cisco Unified MeetingPlace*』から最新のシステム要件を確認してください。
http://www.cisco.com/en/US/products/sw/ps5664/ps5669/prod_installation_guides_list.html。要件を確認する場合は、次の事項に留意してください。

- Web Conferencing を Segmented Meeting Access 構成でインストールする (外部アクセスを可能にする) 場合は、このマニュアルの「[Segmented Meeting Access 構成のための Web Conferencing のインストール](#)」の章も参照してください。
- ロード バランシング構成で Web Conferencing をインストールする場合は、このマニュアルの「[ロード バランシング構成での Web Conferencing のインストール](#)」の章も参照してください。

システム要件を確認したら、次のインストール前の作業を実行します。

1. [Cisco Unified MeetingPlace Audio Server のインストール \(P.2-5\)](#)
2. (オプション) [リモート サーバへの SQL Server のインストール \(P.2-5\)](#)
3. [最小権限 SQL アカウントの作成 \(P.2-5\)](#)
4. [Web Conferencing インストール値の収集 \(P.2-7\)](#)

Cisco Unified MeetingPlace Audio Server のインストール

Cisco Unified MeetingPlace 8100 シリーズ サーバに Audio Server ソフトウェアをインストールし、設定してから、Web Conferencing のインストールを開始する必要があります次の URL の『*Cisco Unified MeetingPlace Audio Server インストールアップグレードガイド*』を参照してください。
http://www.cisco.com/en/US/products/sw/ps5664/ps5669/prod_installation_guides_list.html

リモート サーバへの SQL Server のインストール

Cisco Unified MeetingPlace Web Conferencing には SQL Server が必要です。SQL Server (または MSDE) は、Web Conferencing と同じマシン、または別のマシンにインストールできます。

別のマシンに SQL Server をインストールする場合は、SQL Server 2000 と該当するサービス パックの両方を別の Windows マシンにインストールしてから Web Conferencing をインストールします。マシンは Cisco MCS でも Cisco MCS 以外の従来型のマシンでもかまいません。



(注) Microsoft SQL Server Database Engine (MSDE) はサポートされていますが、すべての Cisco Unified MeetingPlace システム (特に実稼働システム) には、すべてのライセンスを受けた SQL Server を使用することを強くお勧めします。

最小権限 SQL アカウントの作成

デフォルトでは、Cisco Unified MeetingPlace Web Conferencing は SQL および MSDE 組み込みの sa 管理者アカウントを使用してデータベースに接続します。サーバのハードウェアおよびインストール時に選択したオプションにより、Web Conferencing は SQL または MSDE をインストールします。SQL および MSDE インストールの詳細については、[P.2-2 の「SQL Server の統合について」](#)を参照してください。

SQL または MSDE のインストール時に、sa アカウントのパスワードの設定を要求されます。パスワードは空白とせず、堅固なものを設定してください。多くの場合、堅固なパスワードとは、許可されないアクセスから使用するシステムを確実に保護するために十分に安全なパスワードです。しかし、すべての管理権限のある SQL アカウントを使用しないようにする場合は、Web Conferencing で使用する最小権限 SQL アカウントを作成できます。

**注意**

Web Conferencing 専用の SQL アカウントを作成する場合は、そのアカウントがこの手順で指定されたすべての要件を満たすようにします。これらの要件が満たされない場合、Web Conferencing と SQL Server との間のデータベース接続障害が発生し、機能が全体的に停止または中断することがあります。

**(注)**

ご使用の SQL アカウントが要件を満たしていないと Cisco TAC が判断した場合、アカウントの問題が修復されたときに新しいデータベースを作成できるように、SQL アカウントを再設定して、既存の Cisco Unified MeetingPlace Web Conferencing データベースをすべて削除することをお客様に依頼します。

Web Conferencing インストーラは SQL アカウントが存在するかどうか、またそのユーザ名とパスワードの組み合わせが有効かどうかは検証しません。このため、使用する予定の SQL Server アカウントが存在することを確認し、このアカウントが必要なアクセス権を満たしていることを確認してから、Web Conferencing をインストールする必要があります。したがって、認証を使用する Cisco Unified MeetingPlace データベースへのアクセスに使用できる SQL アカウントを作成するには、次の手順を実行します。

- [インストールおよび処理続行権限の割り当て \(P.2-6\)](#)
- [サーバおよびデータベース役割の割り当て \(P.2-7\)](#)

インストールおよび処理続行権限の割り当て

Cisco Unified MeetingPlace Web Conferencing のインストール時に、SQL Server のユーザ名とパスワードの入力を要求されます。この SQL Server ユーザには、インストール時に指定する SQL Server インスタンスにログインする権限が必要です。権限の割り当ておよび確認を行うには、次の手順を実行します。

インストールおよび処理続行権限の割り当て

ステップ 1 SQL Server ユーザに次の追加権限を割り当てます。

- データベースの作成
- テーブルの作成
- デフォルトの作成

ステップ 2 (オプション) インストールが完了した後、この SQL Server ユーザからデータベース作成権限を削除します。

ステップ 3 SQL Server ユーザに、MPWEB データベース内のすべてのテーブルについて、次の権限があることを確認します。

- 選択
- 挿入
- 更新
- 削除



(注) このユーザは、MPWEB データベースを変更できる必要があります。

ステップ 4 次の項「[サーバおよびデータベース役割の割り当て](#)」に進みます。

サーバおよびデータベース役割の割り当て

SQL Server には、権限の認可および拒否の処理を簡素化する役割がいくつか組み込まれています。データベースが作成されるまで、データベース役割を割り当てることはできません。したがって、Cisco Unified MeetingPlace Web Conferencing のインストールが完了するのを待ってから、役割を割り当てます。

サーバおよびデータベース役割を割り当てる

ステップ 1 Cisco Unified MeetingPlace Web Conferencing の適切な権限を持つユーザを作成するには、SQL Server Enterprise Manager を使用してユーザを作成し、次のサーバ役割を割り当てます。

- dbcreator

ステップ 2 MPWEB データベースに対する次のデータベース役割を割り当てます。

- public
- db_datareader
- db_datawriter
- db_ddladmin
- db_owner

トラブルシューティングのヒント

下記のエラーが表示された場合は、`exec sp_changedbowner 'sa'` コマンドを入力して MPWEB データベースのオーナーを変更します。これにより、MPWEB データベースに保存されているプロシージャが起動されます。

```
Error 21776: [SQL-DMO] The name 'dbo' was not found in the Users collection.  
If the name is a qualified name, use [] to separate various parts of the name,  
and try again.
```

このエラーの詳細については、Microsoft Knowledge Base Article 305711、「[BUG: DBO User Does Not Display in Enterprise Manager](#)」を参照してください。

Web Conferencing インストール値の収集

Cisco Unified MeetingPlace Web Conferencing のインストールの準備として、表 2-2 の情報を収集し、記録します。

表 2-2 Cisco Unified MeetingPlace Web Conferencing のインストール値




パラメータ	説明および値
MeetingPlace Server のホスト名	<p>このパラメータは Cisco Unified MeetingPlace Audio Server システムのホスト名を指します。インストールする複数の Web サーバがデータベースを共有し、同じ Audio Server システムをポイントする場合は、これらの Web サーバに設定されている Audio Server のホスト名が一致していることを確認します。</p> <p> (注) Web サーバと Audio Server システムが接続されている場合、つまり両者の間にファイアウォールがなく、ポート 5003 がブロックされておらず、Audio Server システムが動作している場合は、ホスト名の代わりに IP アドレスを使用できます。ただし、IP アドレスを使用すると、Audio Server システムのリバース接続機能が利用できなくなります。この機能は、ポート 5003 の着信がブロックされている場合に、Audio Server システムが Web サーバへの接続を起動できるようにするものです。</p> <p>ホスト名 :</p> <p>IP アドレス :</p> <p>注 :</p>
Web サーバの場所	<ul style="list-style-type: none"> Internal (Full Access) : Cisco Unified MeetingPlace Web Conferencing のすべての機能がインストールされ、有効になります。このサーバは、企業ネットワークの内部に配置されます。Segmented Meeting Access-2 Server (SMA-2S) 展開では、このサーバは内部 Web サーバとして機能します。 External (Limited Access) : Cisco Unified MeetingPlace Web Conferencing が参加専用機能付きでインストールされます。SMA-2S 展開では、このサーバは、企業ファイアウォールの外側にあるインターネット アクセス可能なネットワーク (DMZ など) に配置され、外部 Web サーバとして機能します。 Both : Cisco Unified MeetingPlace Web Conferencing のリリースによって、このオプションは Both (Full Access) または Both (SMA-1S) と呼ばれます。 <p>Web Conferencing は、単一のマシンにインストールされますが、2 つの Web サイトをホストするように設定されます。1 つ目の Web サイトは、フルアクセス可能なユーザインターフェイスを内部ユーザに提供し、2 つ目の Web サイトは、参加専用アクセスをインターネット ユーザに提供します。このサーバは、DMZ に配置され、Segmented Meeting Access-1 Server (SMA-1S) 展開を定義します。</p> <p> (注) Both 設定にはセキュリティ上の利点がいくつかありますが、セキュリティを最大限に高めるために SMA-2S 展開を強くお勧めします。</p> <p>SMA 設定の詳細については、「Segmented Meeting Access 構成のための Web Conferencing のインストール」の章を参照してください。</p> <p>Web サーバの場所 :</p> <p>注 :</p>

表 2-2 Cisco Unified MeetingPlace Web Conferencing のインストール値 (続き)

パラメータ	説明および値
Web サーバのホスト名 または静的 IP アドレス	<p>Segmented Meeting Access (SMA) の設定には、2 つのホスト名または IP アドレスが必要です。1 つは、内部 Web サーバまたはサイト用で、もう 1 つは、外部 Web サーバまたはサイト用です。</p> <p>内部 Web サーバのホスト名 :</p> <p>内部 Web サーバの IP アドレス :</p> <p>(オプション) 外部 Web サーバのホスト名 :</p> <p>(オプション) 外部 Web サーバの IP アドレス :</p> <p>注 :</p>
SQL Server 2000 データ ベースの場所	<p>このマシンに SQL Server 2000 をインストールする場合は、Local Server と入力します。</p> <p>Web サーバから、別のマシンにインストールされている SQL Server のバージョンを参照する場合は、Existing Remote Server と入力します。</p> <p>リモート SQL Server に接続する場合は、そのホスト名または IP アドレスも入力します。</p> <p>SQL Server の場所</p> <p>(オプション) リモート SQL Server のホスト名</p> <p>(オプション) リモート SQL Server の IP アドレス</p> <p>注 :</p>
SQL Server 2000 のユー ザ名とパスワード	<p>Cisco Unified MeetingPlace Web Conferencing を新規にインストールし、SQL Server をローカルでインストールする場合は、ユーザ名として sa を使用します。</p> <p> (注) パスワードを入力する必要があります。Web Conferencing は、空白のパスワードはサポートしません。このインストール時に入力するパスワードは、空白の SQL Server パスワード、または以前入力した SQL Server パスワードを上書きします。</p> <p>ユーザ名 :</p> <p>パスワード :</p> <p>注 :</p>

インストール作業 : Web Conferencing

Cisco Unified MeetingPlace Web Conferencing のインストールは、次の 2 つの部分で構成されます。

1. Cisco MCS Server へのオペレーティング システムのインストール (P.2-10)
2. Web Conferencing のインストール (P.2-11)

Cisco MCS Server へのオペレーティング システムのインストール

開始する前に、システムがネットワークおよびシステム要件を満たすことを確認します。次の URL の『*System Requirements for Cisco Unified MeetingPlace*』を参照してください。

http://www.cisco.com/en/US/products/sw/ps5664/ps5669/prod_installation_guides_list.html

Cisco MCS Server へのオペレーティング システムのインストール

ステップ 1 Cisco Unified MeetingPlace Web Conferencing のインストール先となるネットワーク接続済みの専用 Cisco MCS を用意します。

ステップ 2 Cisco MCS Unified CallManager Appliance に、必要な Cisco MCS オペレーティング システムをインストールします。インストーラによってプロダクト キーを入力するよう要求されたら、**BTOO VQES CCGU IEBI** と入力します。

オペレーティング システム CD は、Cisco Unified MeetingPlace アプリケーション ソフトウェアに付属しています。

MCS OS インストールの詳細については、次の URL の『*Cisco Unified MeetingPlace インストール ション プランニング ガイド*』の「Cisco MCS について」の項を参照してください。

http://www.cisco.com/en/US/products/sw/ps5664/ps5669/prod_installation_guides_list.html

ステップ 3 次の事項を確認します。

- Microsoft IIS 5.0 がインストールされている。
- IIS Administration Service と World Wide Web Publishing Service が動作している。
- デフォルト Web サイトが IIS に設定されている。
- Cisco MCS の管理者権限がある。

ステップ 4 (オプション) Sun JRE のリリースがインストールされている場合は、サポートされるバージョンであることを確認してください (*System Requirements for Cisco Unified MeetingPlace* を参照)。サポートされない場合は、Sun JRE をアンインストールします。

Web Conferencing によって、インストール時に Sun JRE の必要なリリースがインストールされます。詳細については、P.2-2 の「Web Conferencing のインストールについて」を参照してください。

ステップ 5 次の項「Web Conferencing のインストール」に進みます。

Web Conferencing のインストール

Cisco Unified MeetingPlace Web Conferencing の実行ファイルは、次のコンポーネントをインストールするのに 35 ～ 45 分かかります。

- Cisco Unified MeetingPlace Gateway SIM
- Cisco Unified MeetingPlace Web Conferencing ソフトウェア
- .NET Framework。
- SQL Server 2000 (ローカル サーバ オプションを選択した場合)。自動再起動が必要です。
- SQL Server 2000 サービス パックの該当するリリース (ローカル サーバ オプションを選択した場合)。自動再起動が必要です。



(注)

必要な SQL Server 2000 サービス パックについては、次の URL の『*System Requirements for Cisco Unified MeetingPlace*』を参照してください。

http://www.cisco.com/en/US/products/sw/ps5664/ps5669/prod_installation_guides_list.html

始める前に

- インストール先ディスクに、アプリケーション、添付ファイル、記録、および会議とプロフィールのデータベース情報を保管するために十分なディスク領域があることを確認します。これらの情報は、時間とともにサイズが増加します。次の URL の『*System Requirements for Cisco Unified MeetingPlace*』を参照してください。
http://www.cisco.com/en/US/products/sw/ps5664/ps5669/prod_installation_guides_list.html
- Cisco MCS でアンチウイルス ソフトウェアが実行されている場合は、それを無効にします。
- Cisco Unified MeetingPlace 8100 シリーズ サーバに Cisco Unified MeetingPlace Audio Server Release 5.4 以降がインストールされていることを確認します。
- P.2-7 の「Web Conferencing インストール値の収集」で収集した情報を用意します。
- P.2-10 の「Cisco MCS Server へのオペレーティング システムのインストール」を完了します。

制約事項

Terminal Services を使用した Web Conferencing Release 5.4 のインストールまたは Release 5.4 へのアップグレードはサポートされていません。



注意

プログラムのインストール中や、システムの自動シャットダウンまたは再起動中は、サーバの動作を中断しないでください。

Cisco Unified MeetingPlace Web Conferencing をインストールする

- ステップ 1** 開いているアプリケーションをすべて終了します。
- ステップ 2** Cisco Unified MeetingPlace Web Conferencing CD を CD/DVD-ROM ドライブに挿入し、.exe ファイルをダブルクリックしてインストールを開始します。



(注) 「Missing Server Version」というエラーメッセージが表示された場合は、Audio Server リリース 5.4 以降が Cisco Unified MeetingPlace 8100 シリーズ サーバにインストールされていることを確認します。正しいバージョンがインストールされている場合は、Web Conferencing のインストールを続行します。インストールされていない場合は、Audio Server ソフトウェアをバージョン 5.4 以降にアップグレードしてから続行します。

ステップ 3 インストールファイルが抽出されたら、[Next] をクリックします。次に、P.2-7 の「Web Conferencing インストール値の収集」で収集した情報を使用して、インストーラ ウィンドウの指示に従います。次の考慮事項に注意してください。

- Audio Server システムのホスト名の代わりに IP アドレスを入力すると、リバース接続に関する警告メッセージが表示されます。
- このマシンが DMZ などのネットワーク セグメントにあり、リバース接続の使用を考えている場合は、IP アドレスの代わりにホスト名を入力して、インストールを続行します。
- このマシンが Audio Server システムに接続されている場合、つまり両者が同じネットワーク セグメントにあり、ポート 5003 が開いており、Audio Server システムが動作しており、リバース接続の使用を考えていない場合は、IP アドレスを使用して、インストールを続行します。

ステップ 4 インストーラは最初に Gateway SIM をインストールします。[InstallShield Wizard Complete] ウィンドウが表示されたら、[Finish] をクリックします。Gateway SIM がインストールされます。

ステップ 5 インストール キーを入力するようインストーラから要求された場合は、次の考慮事項に注意してください。

- Web Conferencing をインストールするマシンがすでに Audio Server システム上で設定されている場合は、[Installation Key Entry] ウィンドウでこのマシンのイーサネットアドレスを入力して、[Next] をクリックします。
- Web Conferencing の新規インストールの場合、このマシンは Audio Server システム上に設定されていない可能性があります。この場合は、このフィールドを空白のままにして [Next] をクリックします。

ステップ 6 P.2-7 の「Web Conferencing インストール値の収集」の情報を使用し、インストーラ ウィンドウの指示に従って作業を続行します。

ステップ 7 最後のインストーラ ウィンドウで、コンピュータを今すぐ再起動するオプションを選択してから、[Finish] をクリックします。変更を有効にするため、マシンを再起動する必要があります。

インストール時には、次の情報に留意してください。

- SQL Server の場所として [Local Server] を選択した場合、最初の再起動後に、インストーラによって SQL Server のインストールが開始されます。システム トレイの Cisco Unified MeetingPlace アイコンの状態が更新され、SQL Server のインストールが完了すると、サーバは自動的に再起動されます。
- インストーラがローカル SQL Server インストールを検出すると、2 回目の再起動後に、インストーラによって SQL Server サービス パックのインストールが開始されます。システム トレイにある Cisco Unified MeetingPlace アイコンの状態が更新されます。サービス パックのインストールが完了すると、サーバは自動的に再起動されます。
- SQL Server と SQL Server サービス パックのインストールには時間がかかるため、サーバのハードウェアによっては、インストールが完了するまでに 40 分以上必要なことがあります。
- Cisco Unified MeetingPlace アイコンは、オレンジ色のドアとして表示されています。

- SQL Server のインストールに時間がかかりすぎている (35 分以上かかっている) 場合は、タスク マネージャで、SQLInstall.exe が実行中であることを確認します。
- サーバの再起動が完了すると、インストーラが SQLInstall.exe を起動して、MPWEB SQL データベースが作成されます。この処理には、5 ~ 10 分程度かかります。

ステップ 8 Gateway SIM イベント ログを開いて、Web Conferencing アプリケーションのアクティビティを監視します。

ステップ 9 次の項「[Web Conferencing インストール システムのテスト](#)」に進みます。

Web Conferencing インストール システムのテスト

Cisco Unified MeetingPlace Web Conferencing をインストールしたら、次の作業を行ってインストールされたシステムをテストします。

1. [Web Conferencing サーバの定義 \(P.2-14\)](#)
2. [HTTP 接続での Web サーバのテスト \(P.2-15\)](#)
3. [HTTPS 接続での Web サーバのテスト \(P.2-15\)](#)
4. [会議コンソールの接続テスト \(P.2-16\)](#)

Web Conferencing サーバの定義

Cisco Unified MeetingPlace Web Conferencing サーバの定義

ステップ 1 Web ブラウザを開いて、Web サーバの URL を入力します。

内部 Web サーバの場合、デフォルトの URL 構造は `http://<server>` です。ここで、`<server>` は内部 Web サーバの名前です。

外部 Web サーバの場合、デフォルトの URL 構造は `http://<server>/mpweb/admin` です。ここで、`<server>` は外部 Web サーバの名前です。

ステップ 2 Web Conferencing のホーム ページが表示されたら、システム管理者レベルのユーザ ID とパスワードを使用してサインインし、**[すぐにサインイン]** をクリックします。

内部 Web サーバの場合、**[ようこそ]** ページが表示され、一番上に自分の名前が表示されます。管理ページにアクセスするには、**[Admin]** をクリックします。

外部 Web サーバの場合、管理ページが表示されます。

ステップ 3 **[Admin]** ページで、**[Web Server]** をクリックします。

ステップ 4 ページの **[View]** から、設定する Web サーバの名前をクリックします。

この Web ページについての情報が、ページの **[Edit]** セクションに取り込まれます。

ステップ 5 **[Hostname]** に、Web サーバの完全修飾ドメイン名 (FQDN) を入力します。次の考慮事項に留意してください。

- このフィールドに Web サーバのホスト名だけが入力されている場合は、FQDN、つまり **hostname.domain.com** の形式に変更します。
- Web サーバが Domain Name Server (DNS; ドメイン ネーム サーバ) に登録されていない場合は、代わりに IP アドレスを設定します。
- このホスト名または IP アドレスは、対象ユーザが解決できるものであることが必要です。詳細については、[P.2-15](#) の「[HTTP 接続での Web サーバのテスト](#)」を参照してください。

ステップ 6 **[Web Conference Active]** には、**[Yes]** または **[No]** を選択します。

デフォルトでは **[Yes]** に設定されています。**[No]** を選択した場合、この Web サーバは会議をホストしません。

ステップ 7 [Submit] をクリックします。

HTTP 接続での Web サーバのテスト

Web サーバが [Web Server] 管理ページで設定されたホスト名を使用して、Web サーバ自体を解決できることを確認します。これは前の項「[Web Conferencing サーバの定義](#)」の **ステップ 5** で設定したホスト名で、エンドユーザがこの Web サーバへの接続に使用するホスト名でもあります。

HTTP 接続での Web サーバのテスト

ステップ 1 Web サーバから、Web ブラウザを使用して Web サーバの **http://hostname.domain.com**、つまり完全修飾ドメイン名 (FQDN) に接続します。

または

Web サーバが Domain Name Server (DNS; ドメイン ネーム サーバ) に登録されていない場合は、Web ブラウザを使用して Web サーバから IP アドレスに接続します。

ステップ 2 Cisco Unified MeetingPlace Web Conferencing のホーム ページが表示されたら、接続は正常です。

エラー メッセージが表示された場合は、[P.6-4](#) の「[サーバ接続に関する問題](#)」を参照してください。

HTTPS 接続での Web サーバのテスト

HTTPS 接続での Web サーバのテスト

ステップ 1 Web サーバから、Web ブラウザを使用して Web サーバの **https://hostname.domain.com**、つまり完全修飾ドメイン名 (FQDN) に接続します。

または

Web サーバが Domain Name Server (DNS; ドメイン ネーム サーバ) に登録されていない場合は、Web ブラウザを使用して Web サーバから IP アドレスに接続します。

ステップ 2 Cisco Unified MeetingPlace Web Conferencing のホーム ページが表示されたら、接続は正常です。

セキュリティに関する警告ダイアログボックスが表示された場合は、[P.6-4](#) の「[サーバ接続に関する問題](#)」を参照してください。

会議コンソールの接続テスト

会議コンソールの接続をテストする

-
- ステップ 1** エンドユーザ システムで、Web ブラウザを開いて、アドレス フィールドに Cisco Unified MeetingPlace Web Conferencing の URL を入力して、**Enter** キーを押します。
- ステップ 2** システム管理者レベルのユーザ ID とパスワードを使用してサインインします。
- ステップ 3** [ようこそ] ページで、[会議スケジュールの作成] をクリックします。
- ステップ 4** [新しい会議] スケジュールリング ページで、会議の詳細を入力し、[スケジュール] をクリックします。
- ステップ 5** [ようこそ] ページで、スケジュールした会議の会議 ID を入力して、[会議に参加] をクリックします。
- ステップ 6** 会議コンソールが正しくロードされたことを確認します。
-